

株主優待の割当基準日および贈呈時期変更のお知らせ

当社は、毎年9月30日(決算期末日)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主の皆さまを対象として株主優待制度を実施していましたが、平成30年度より、株主優待の割当基準日を3月31日(中間期末日)へ変更し、贈呈時期も6月上旬の送付に変更させていただきます。

なお、本変更は平成30年3月31日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上の株式を保有する株主の方から適用し、平成29年9月30日現在の対象株主の方には、従来どおりに株主優待を送付させていただきます。ご了承ください。

	従来	変更後
対象株主	毎年9月30日(決算期末日)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主の方。	毎年3月31日(中間期末日)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主の方。
優待内容	【1,000株以上】 当社製の手造りジャムセット(3,230円相当) 【100株以上1,000株未満】 当社製の手造りジャムセット(2,200円相当)	変更ございません。
贈呈時期	12月上旬に送付	6月上旬に送付

株主優待の内容

当社オリジナル製品「GREEN WOOD手造りジャム」1セットを贈呈いたします。家庭でつくるように、果実と糖と果汁のみで煮詰めました。果肉たっぷり、当社が自信をもってお勧めする製品です。

所有株式数100株以上

詰め合わせ例

- いちごジャム ●ブルーベリージャム
- オレンジマーマレード

(各320g) **2,200円相当**



所有株式数1,000株以上

- いちごジャム
- ブルーベリージャム

(各530g) **3,230円相当**



第71期 報告書

平成28年10月1日から平成29年9月30日まで



証券コード：9869



JQA-EM4237

トップメッセージ	1
グループミッション/長期ビジョン	2
事業内容	3
連結決算概要	4
主要な事業の概況	5
連結財務・業績ハイライト	6
特集 創立70年のあゆみ	7
ニュース・クローズアップ	9
CSRへの取り組み	10
連結財務諸表	11
個別財務諸表	12
会社情報	13
株式情報/株主メモ	14



<http://www.katosangyo.co.jp/>

加藤産業株式会社

証券コード：9869



UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



代表取締役社長 加藤 和弥

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。当社は本年8月22日をもちまして会社創立70周年を迎えました。これもひとえに株主の皆さまをはじめ、関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、第71期における食品流通業界は、雇用環境及び所得環境は堅調に推移しておりますが、日常生活関連消費については消費者の節約志向が根強く、生活防衛意識の強さが続いています。一方で、消費者の生活スタイルの変化等による食生活の多様化も見られ、企業を取り巻く競争環境が幅広くなり、また、人手不足等に伴う物流関連コストの負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。

こうした中において加藤産業グループは、卸売業としての基本機能である営業と物流が連携を取りながら総合力を発揮し、提案型営業を推進すると同時に卸売業としての営業機能を強化することで取引先との関係を強化するとともに、自社ブランド商品の開発・拡売により収益の確保を図ってまいります。また、物流を中心とした現場力を向上することで一人ひとりの生産性を高め、コスト削減及び経営の効率化を進めてまいります。

創立70周年を迎え、加藤産業グループが次のステージへ挑戦するために、私たちの社会的使命と事業領域を定めた「グループミッション」と「長期ビジョン」を掲げ、今後は、私たちの事業活動や取り組みを通して「豊かな食生活」を提供し、人々の幸せを実現することを目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

社 是

能力を啓発し機能を充実し
生販両層にとって最も価値
ある存在として周囲の人々の
生活を豊かに実らせ 其處に
社会性を有する企業として
永遠の発展を礎きあげる。

加藤産業グループが次のステージへ挑戦するための、私たちの社会的使命と事業領域を定めた「グループミッション」「長期ビジョン」

Mission

私たちのミッションは、「豊かな食生活」を提供して、
人々の幸せを実現すること。
私たちの全ての活動・取り組みは、このミッションの達成を目指す。

私たちのミッション(使命)は、
食の生産の源となる自然の恵みを大切にし、
誰でも、安全で安心な商品が手頃な価格で手に入り、
季節性・地域性に富んだ多様な食を楽しみ、食文化を継承し、育むことで
家族の団らん・人々の絆を強め、健康で健全な生活に貢献するような
「豊かな食生活」を提供し、人々の幸せを実現することです。

Vision

私たちのミッションを達成するための長期ビジョン(未来像)

- 【食のインフラ】になる
商品、情報、ロジスティクスの総合力を発揮して、生活者の豊かな食生活を支える基盤を作る
- 【食のプロフェッショナル】になる
食品流通に携わるプロとして知識を蓄え、スキルを磨き、生活者に豊かな食生活を提供する
- 【食のプロデューサー】になる
生活者が豊かな食生活を実現するために、「つなぎ」を実現し、「食」が持つ価値を創造する





プライベートブランド

Private Brand

消費者や小売店さまの多様なニーズにお応えするために、独自で商品の開発・製造・輸入を行っております。

お客さまの買いたい商品を取り揃える商品調達力

Merchandising

総合食品卸売業として、4,000社を超えるメーカーさまと取引をし、幅広い品揃えの商品を小売店さまに卸しております。

適切な時に適切なものを選ぶ物流システム

Logistics

高度な物流技術で、必要な時に必要なものを必要な量だけ小売店さまにお届けしております。

お客さまのニーズにあわせた売り方や商品陳列を行う売場計画力(リテールサポート)

Retail Support

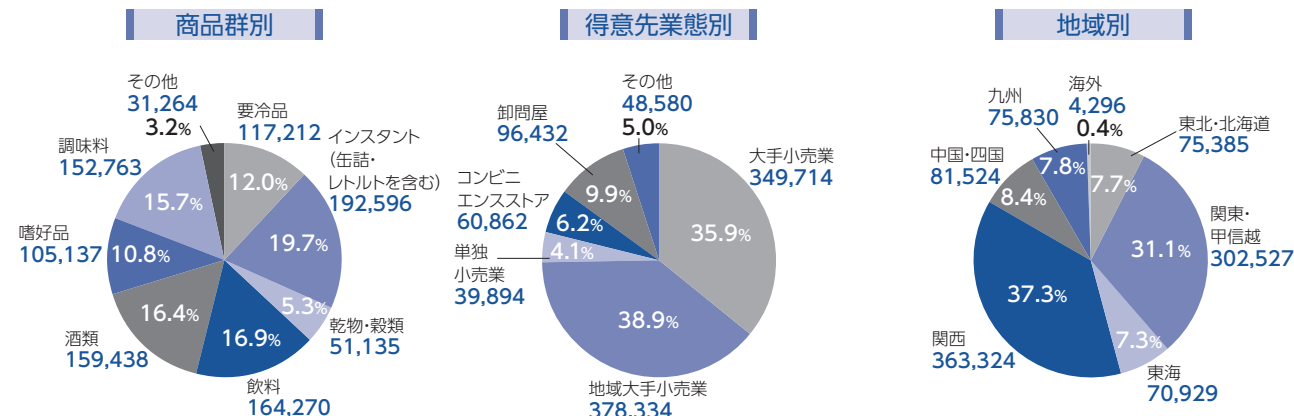
消費者のトレンドに基づいて小売店さまの売場計画を立て、実行する。こうしたきめ細かい売場づくりのサポートをしております。

連結売上高 9,738億18百万円
 連結経常利益 104億17百万円

提案型営業を積極的に推進し、小売業をはじめ取引先との取り組みを一つひとつ積み重ねることで、卸売業の役割である「つなぎ」を推進するとともに、諸経費の抑制及び業務の生産性向上等のローコストオペレーションによる経営の合理化に努めてまいりました。

		来期(第72期)予想	
売上高	9,738億18百万円	前期比 2.2%増加	10,000億00百万円 前期比 2.7%増加
営業利益	92億98百万円	前期比 17.1%増加	98億20百万円 前期比 5.6%増加
経常利益	104億17百万円	前期比 15.2%増加	110億00百万円 前期比 5.6%増加
親会社株主に帰属する当期純利益	67億93百万円	前期比 30.5%増加	70億00百万円 前期比 3.0%増加

売上高構成 (単位：百万円)



主要な事業の概況

Segment Review

常温流通事業 (常温ドライ、家庭用食品)

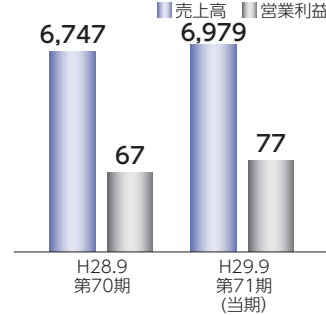
売上高 **6,979億90百万円**

前期比**3.4%**増加 ↗

営業利益 **77億54百万円**

前期比**14.1%**増加 ↗

売上高 & 営業利益 (億円)



当社グループの主力事業である常温流通事業は、多様化する消費者の需要に対応すべく、価格だけに頼らない価値の提供に取り組むために、仕入先と連携しながら得意先との関係強化を築くとともに、自社ブランド商品の開発・販売においても価値訴求を進めることで、自販力の強化を図ると同時に、物流費の抑制及び生産性向上への取り組み等により、増収増益となりました。

低温流通事業 (チルド、冷凍、外食用食品)

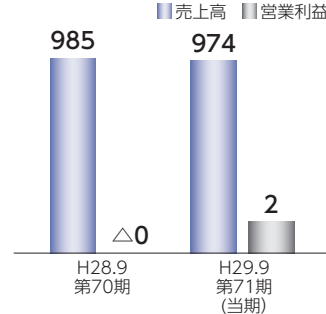
売上高 **974億2百万円**

前期比**1.1%**減少 ↘

営業利益 **2億32百万円**

前期は営業損失**42百万円** ↗

売上高 & 営業利益 (億円)



低温流通事業は、消費者の節約志向が続いており、企業間の競争が一段と厳しい中で、大手得意先との取引の見直しを図り、商品提案など顧客ニーズに応えることで売上総利益率の改善に取り組むとともに、業務改善など生産性向上によるコスト削減により、減収増益となりました。

酒類流通事業

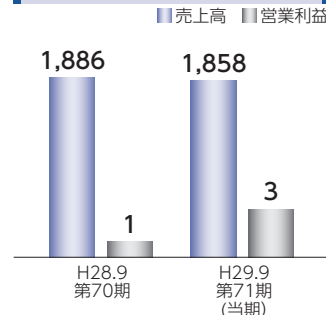
売上高 **1,858億42百万円**

前期比**1.5%**減少 ↘

営業利益 **3億37百万円**

前期比**209.2%**増加 ↗

売上高 & 営業利益 (億円)

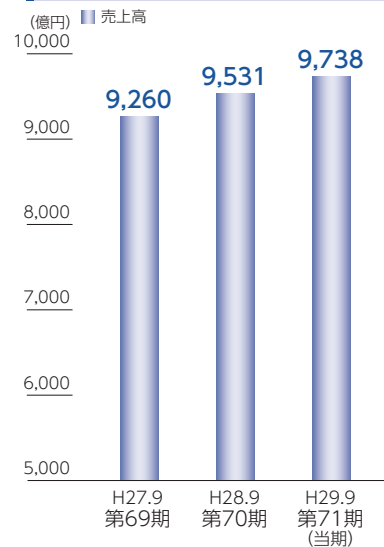


酒類流通事業は、消費者の低価格志向が続いている一方で、価値と価格を伴った上級化・上質化商品への需要移行も見られ、消費の二極化が一層鮮明になる中で、主要取引先との取り組みや利益商材の拡売など自販力及び提案型営業の強化を図るとともに、利益管理を徹底し、コスト削減及び生産性向上を図ることでローコストオペレーションに取り組む、減収増益となりました。

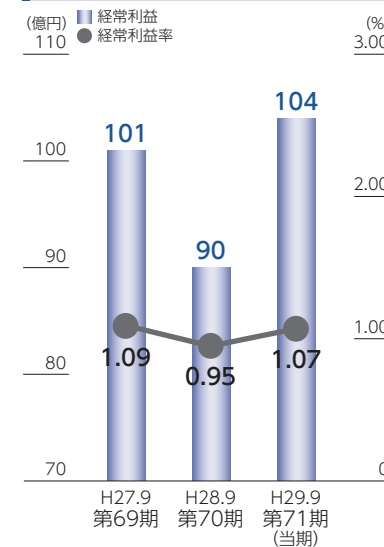
連結財務・業績ハイライト

Consolidated Financial Highlights

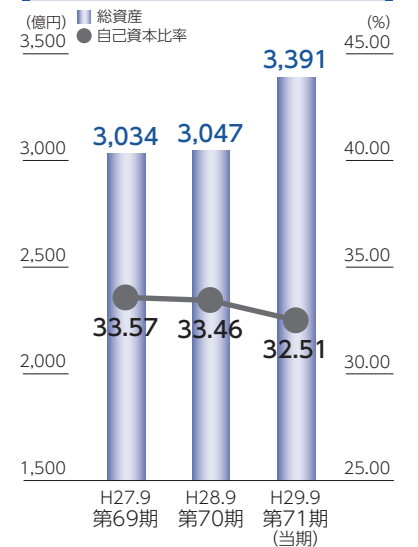
売上高



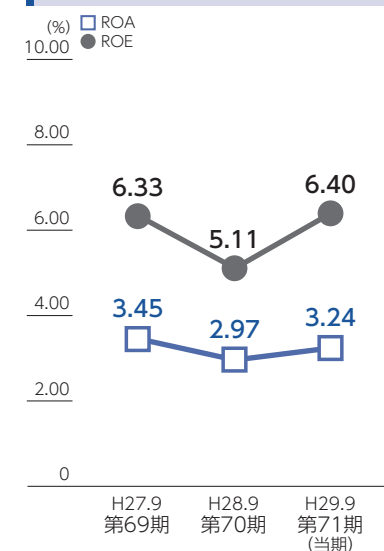
経常利益 & 経常利益率



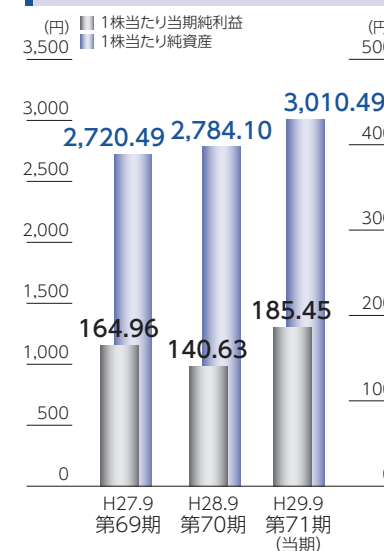
総資産 & 自己資本比率



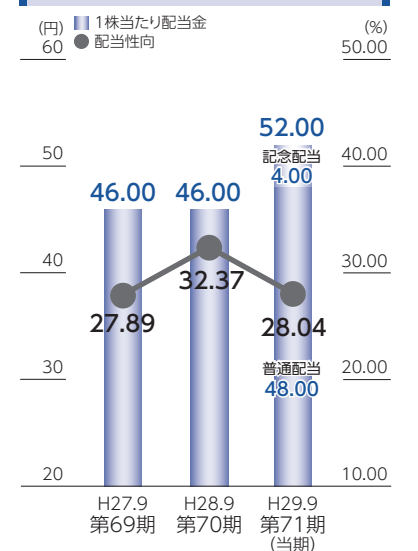
ROA & ROE



1株当たり当期純利益 & 1株当たり純資産



1株当たり配当金 & 配当性向



5 ※上記の売上高及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。

当社は2017年8月22日をもちまして創立70周年を迎えました。1947年の創立以来、さまざまな困難に立ち向かいながら、常に挑戦を続けて成長してまいりました。

これからも「豊かな食生活」を提供し、人々の幸せを実現するために邁進してまいります。

1945年 (昭和20年)

兵庫県西宮市において、飲料水卸売業加藤商店を創業

1947年 (昭和22年)

株式会社に改組し、加藤産業(株)を設立



1956年 (昭和31年)

関西ピーナツバター(株)を設立 (カンピー誕生)

1962年 (昭和37年)

首都圏へ進出(全国展開を開始)

1970年 (昭和45年)

カンピージャムの製造拠点として上郡工場を設置

1990年 (平成2年)

大阪証券取引所市場第二部に上場

1995年 (平成7年)

北海道地区へ進出(全国展開を完了)

1997年 (平成9年)

ヤタニ酒販(株)を設立

1997年 (平成9年)

東京証券取引所市場第二部に上場

2004年 (平成16年)

東京証券取引所・大阪証券取引所 両市場第一部銘柄に指定替え



2006年 (平成18年)

ケイ低温フーズ(株)を設立

2007年 (平成19年)

中国の食品卸売事業に出資 (海外事業へ進出)



2013年 (平成25年)

Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.を設立

2014年 (平成26年)

三陽物産(株)を子会社化

2015年 (平成27年)

Naspac Marketing Pte.Ltd.を子会社化

2016年 (平成28年)

Toan Gia Hiep Phuoc Trading and Food Processing, JSC.を子会社化

2017年9月期(70周年)
売上高9,738億円(連結)
売上高6,740億円(単体)

2007年9月期(60周年)
売上高6,010億円(連結)

1997年9月期(50周年)
売上高3,619億円(連結)

1987年9月期(40周年)
売上高1,793億円(単体)

1977年9月期(30周年)
売上高771億円(単体)

1967年9月期(20周年)
売上高103億円(単体)

1957年9月期(10周年)
売上高8億円(単体)

設立からの売上高推移

■ 連結売上高
■ 単体売上高

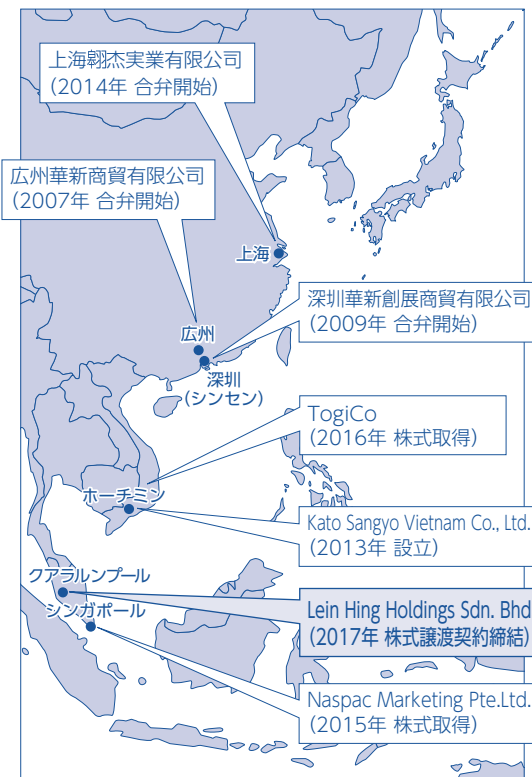


マレーシアにおける食品卸売事業を強化

当社は、2017年8月にマレーシアに本社を置くLein Hing Holdings Sdn. Bhd.(以下、Lein Hing Holdings)の株式を取得することについて、株式譲渡契約を締結しました。Lein Hing Holdingsは、クアラルンプール及びマレーシア北部を中心に主要な小売業者との強い取引関係を築き上げたことで、確固たる地位を確立している有力卸売業であります。当社グループは、すでにアジア地域において展開している中国及びシンガポール、ベトナムとの協業を進めることで、より一層の海外事業展開の強化を図り、企業価値の向上に取り組んでまいります。

【会社の概要】

社名：Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.
 所在地：Suite 1603, 16th Flr. Wisma Lim Foo Yong, No. 86, Jalan Raja Chulan, Kuala Lumpur, Wilayah Persekutuan
 代表者の職・氏名：Managing Director Dato' Kong Hong Meng
 事業内容：日用雑貨・加工食品卸売業
 資本金：5,250千リンギット
 設立：1991年5月6日
 売上高：1,170百万リンギット(2016年12月期)



「おうちでカンタン!キッシュ用ソース」を発売

昨今、注目を集めているオシャレなメニュー「キッシュ」が、混ぜる・入れる・焼くだけの簡単3STEPで出来あがる「おうちでカンタン!キッシュ用ソース」を発売しました。時間も手間も省きつつ、野菜をたっぷり食べられます。生クリームの代わりに豆乳を使用しているので、健康が気になる方にもオススメの一品です。ぜひご賞味ください。

【規格】80g(2~3人前)
 【希望小売価格】200円(税抜)



カンピージャムのウェブサイトを開

この度、当社の主力商品である「ジャム」へのこだわりを発信するウェブサイト「Kanpy(カンピー) ジャム」を開しました。本ウェブサイトでは、当社のジャム商品のおいしさ、歴史、こだわりや品質、レシピについて表現しています。

商品ラインナップ	お子さまからシニアまで幅広くご好評いただいている商品のご紹介
カンピージャムの歴史	60年の歴史と、これからのカンピーがわかる年表
安全・安心へのこだわり	安全・安心に取り組む製造現場担当者へのインタビュー
レシピ	ジャムを使用したアレンジレシピのご紹介
お知らせ	新製品、コラボ商品、キャンペーン情報など、トピックスの発信



当社は、毎日の暮らしをより豊かに、おいしく価値ある商品をご提供し、お客さまの幸せを実現することに向けて、より愛され続けるブランドを目指してまいります。

URL:<http://www.katosangyo.co.jp/kanpy/>



CSRへの取り組み

グリーンウッド基金

当社の従業員が自主的に行っているグリーン活動(事務所周辺地域の清掃活動)を、会社が支援する仕組みで賛助金を拠出し、積み立てる「KATOグリーンウッド基金」を設立し、幅広く社会に役立てています。この活動は2006年度から開始し、当社拠点付近の社会福祉法人をはじめ、NPO法人等への支援を継続してまいりました。今後も従業員による地域活動を通して、社会に貢献する企業を目指してまいります。



連結財務諸表

個別財務諸表

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	当連結会計年度 平成29年9月30日現在	前連結会計年度 平成28年9月30日現在
資産の部		
流動資産	235,261	201,969
固定資産	103,895	102,819
有形固定資産	44,153	45,462
無形固定資産	5,724	6,618
投資その他の資産	54,017	50,737
資産合計	339,156	304,788
負債の部		
流動負債	212,345	187,210
固定負債	13,348	12,539
負債合計	225,693	199,749
純資産の部		
株主資本	96,679	91,633
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,760	8,813
利益剰余金	84,966	79,866
自己株式	△2,981	△2,980
その他の包括利益累計額	13,596	10,350
その他有価証券評価差額金	13,057	10,320
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	△125	△472
退職給付に係る調整累計額	662	502
非支配株主持分	3,187	3,054
純資産合計	113,463	105,038
負債純資産合計	339,156	304,788

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	当連結会計年度 自平成28年10月1日 至平成29年9月30日	前連結会計年度 自平成27年10月1日 至平成28年9月30日
売上高	973,818	953,153
売上原価	910,159	891,614
売上総利益	63,659	61,538
販売費及び一般管理費	54,360	53,598
営業利益	9,298	7,939
営業外収益	1,762	1,632
営業外費用	643	527
経常利益	10,417	9,043
特別利益	506	129
特別損失	106	316
税金等調整前当期純利益	10,818	8,856
法人税、住民税及び事業税	3,547	3,317
法人税等調整額	88	239
当期純利益	7,182	5,300
非支配株主に帰属する当期純利益	389	95
親会社株主に帰属する当期純利益	6,793	5,204

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	当連結会計年度 自平成28年10月1日 至平成29年9月30日	前連結会計年度 自平成27年10月1日 至平成28年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	11,238	9,770
投資活動による キャッシュ・フロー	△774	△6,965
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,650	△4,978
現金及び現金同等物に 係る換算差額	26	△57
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	6,839	△2,230
現金及び現金同等物の 期首残高	61,892	64,122
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の 期末残高	68,732	61,892

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

Point 1 連結損益計算書

●売上高
得意先との取り組み強化等により、前期に比べて2.2%増加し、9,738億18百万円となりました。

Point 2 連結損益計算書

●親会社株主に帰属する当期純利益
自販力の強化と利益管理の徹底及び自社ブランド商品の拡販を図るとともに、物流費の抑制を進めた結果、前期に比べて30.5%増加し、67億93百万円となりました。

貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	当事業年度 平成29年9月30日現在	前事業年度 平成28年9月30日現在
流動資産	187,885	162,323
固定資産	92,450	91,556
有形固定資産	37,369	38,791
無形固定資産	3,015	3,227
投資その他の資産	52,065	49,538
資産合計	280,335	253,879
流動負債	166,261	148,304
固定負債	10,031	9,202
負債合計	176,293	157,507
純資産合計	104,041	96,372
負債純資産合計	280,335	253,879

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

損益計算書 (単位: 百万円)

科目	当事業年度 自平成28年10月1日 至平成29年9月30日	前事業年度 自平成27年10月1日 至平成28年9月30日
売上高	674,048	652,435
売上原価	629,978	610,122
売上総利益	44,069	42,312
販売費及び一般管理費	35,355	34,338
営業利益	8,714	7,974
経常利益	9,754	8,798
当期純利益	6,821	5,828

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

会社情報

Corporate Data

会社概要 (平成29年9月30日現在)

名称	加藤産業株式会社
設立	昭和22年(1947年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー製品製造発売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	1,035名

主要グループ会社 (平成29年9月30日現在)

会社名	事業内容	売上高 (百万円)
◎ 三陽物産(株)	酒類・食品卸売業	126,785
◎ ケイ低温フーズ(株)	低温食品卸売業	97,402
◎ ヤタニ酒販(株)	酒類・食品卸売業	56,428
◎ カトー菓子(株)	菓子卸売業	6,722
◎ 九州加藤(株)	食品卸売業	6,614
◎ (株)植嶋	菓子卸売業	5,418
◎ エス・エイ・エスジャパン(株)	酒類・食品卸売業	2,629
○ カトー酒販(株)	酒類・食品卸売業	1,034
◎ Naspac Marketing Pte.Ltd.	食品卸売業	35,989 千SGD
◎ Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd.	食品卸売業	192,879 百万VND
○ Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.	食品卸売業	162,467 百万VND
△ 深圳華新創展商貿有限公司	食品卸売業	261,529 千人民幣
△ 上海翱杰実業有限公司	食品卸売業	51,919 千人民幣

役員(取締役・監査役)及び執行役員 (平成29年12月22日現在)

代表取締役社長	加藤和弥	社外取締役	宮井真千子
専務取締役	木村敏弘	社外取締役	八十川祐輔
常務取締役	神月豊	常勤監査役	相良広基
常務取締役	山中謙一	社外監査役	山村幸治
取締役	太田尚史	社外監査役	森内茂之
取締役	中村考直		
取締役	菅公博	執行役員	小野聡
取締役	日比啓介	執行役員	西本忠司
取締役	打田雅俊	執行役員	明石誠
取締役	次家成典	執行役員	和田陽一

会社名	事業内容	売上高 (百万円)
◎ マンナ運輸(株)	運送業	5,323
◎ カトーロジスティクス(株)	運送業	4,244
◎ 沖縄ロジスティクス(株)	物流業務請負業	14
◎ 和歌山産業(株)	食品製造業	3,841
○ 兵庫興農(株)	食品製造業	1,281
○ (株)アドバンス・キッチン	飲食業	259
◎ 加藤不動産(株)	損害保険代理店業	222
◎ 加藤SCアジアインベストメント(株)	海外事業投資業	—

◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

株式情報

Stock Information

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

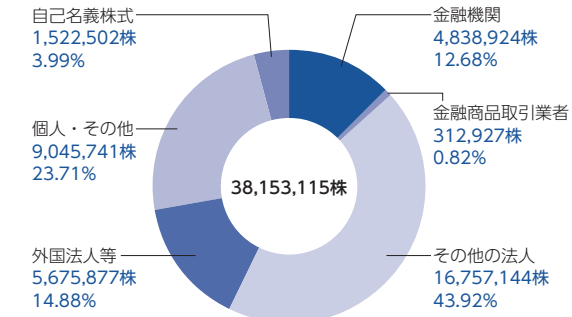
発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	38,153,115株
株主数	8,859名(内、単元株所有者数: 8,560名)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三井物産株式会社	3,153	8.60
住友商事株式会社	1,931	5.27
三菱商事株式会社	1,787	4.87
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	1,370	3.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,020	2.78
加藤和弥	950	2.59
株式会社加藤興産	850	2.32
キューピー株式会社	841	2.29
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.28
カゴメ株式会社	731	1.99

(注) 1. 当社は自己株式1,522,502株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 持株比率は自己株式(1,522,502株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

Information for Shareholders

事業年度 10月1日～翌年9月30日
 期末配当金受領株主確定日 9月30日
 中間配当金受領株主確定日 3月31日
 定時株主総会 毎年12月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 〒541-8502
 (お問い合わせ先) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 電話(通話料無料)0120-094-777
 公告方法 日本経済新聞に掲載する方法により行う

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されていない証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。